

「ドラセーナ障害者保健施設建設計画」 署名式

2011年3月10日当館において、ドラセーナ障害者を支える親と友の会 (APAE) に対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式をアルナルド・レジストロ会長と当館大部一秋総領事の間で行いました。

署名後、大部総領事より「100年前に日本移民を親切に迎え入れてくれたブラジル社会に対して非常に感謝している。草の根を通してブラジルの発展や成長に貢献できることをとても嬉しく思う。」と祝辞を述べました。

レジストロ会長は、「本協力によってドラセーナ市の障害者が裨益することができとても嬉しく思う。ドラセーナ APAE にとって大変貴重な協力であり改めて感謝の意を表する」と述べました。



贈与契約書署名後、握手する
レジストロ会長(左)と大部総領事



案件関係者

案件のプロフィール

案件名:「ドラセーナ障害者保健施設建設計画」

被供与団体:ドラセーナ障害者を支える親と友の会

プロジェクト実施地:サンパウロ州ドラセーナ市

契約署名日:2011年3月10日

供与額:106,379米ドル(限度額)

案件概要:ドラセーナ APAE は 1972 年に設立され、障害者に対して教育や医療・福祉のサービスを提供しています。生徒の受け入れ人数の増加に伴い年々施設が手狭になり、現在少しでも多くの生徒に対応できるよう 17 人の専門家(心理士、理学療法士、作業療法士、医師、看護師、社会福祉士、等)が交替でリハビリやカウンセリングを行っています。しかし、既に対応能力は限界に達しており、その結果、療育を行うことのできる時間や人数が制限され、生徒に対し適切な対応ができないという課題を抱えています。今回の協力はこのような問題の解決に資する目的で障害者保健所整備に対し支援を行うものです。

供与品目:保健施設(158,88m²)